



ラーチャブルック ราชพฤกษ์

※「ラーチャブルック」はタイを代表する花、ゴールデンシャワーをタイ語で表現したものです。

令和3年度
4月号

<https://www.tjasac.th>
小学部第1職員室
02-314-7334
小学部第2職員室
02-369-2751
小学部第3職員室
02-369-2750
中学部職員室
02-314-7335

新年度にあたり

校長 谷口 幸一郎

学校の周りにはラーチャブルックの花をはじめ多くの花が咲き誇っています。まさにバンコクで一番、自然の息吹を感じる時です。しかしながら、楽しみにしていた入学式、始業式、残念ながら子供たちと一緒に学校で行うことができなくなりました。配信を使って自宅で視聴する形になってしまいました。いずれにしても配信授業から双方向の授業を目指して職員一同努力してまいりたいと思いますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

多くの卒業生や教員が本校を離れ、少し寂しい思いをしていましたが、今年は年度当初から新しい教員もA S Qを経て着任することができました。児童生徒2354人、教員168人並びに職員48人で令和3年度のスタートをきることができました。職員室もこれまでの3部屋から4部屋に増え、学年部を低、中、高、中学部としました。さらに、昨年度3学期のような事態にならないように、各学級をすべて25人以下で編制して少人数指導を充実させてまいります。併せて、情報端末を一人一台ずつ(小:クロムブック 中:タブレット)貸与し、オンデマンド型授業に加えて双方向の授業ができるよう、子供たちの教育環境を整えていきます。(端末については、教科書配付時に同時に貸与します。ドライブスルー配付ですので、ご協力のほどお願いいたします。)

本年度の教育目標を「自らの可能性を信じ努力することのできる児童生徒を育成する。」と設定しました。3学期の昼休みに、「校長先生、逆上がりして」と子供たちに言われ、高鉄棒でチャレンジしてみると、なんとできたのです。「校長先生スゲー」通常ならこの年です。まずやろうとは思いません。でも子供たちと接していると、やろうとする気持ちがでてくるのです。それは学校にいると何となく元気になるのと同じで、子供たちがもっているエネルギーが私たち教員まで伝わってくるのです。そのエネルギーこそが、子供たちの秘めた可能性だと思っています。子供の生きていく時代はこれまでとは違う、私たちの想像を超えて時代になります。AIの発達により生活様式や社会構造も変わっていくと思われまます。様々なことにチャレンジさせることで、将来の子供たちの可能性を実現させる素地になるものと考えています。また、教育活動においてはSDGsを実践することとIBの計画作成を目指していきます。併せて「小中連携プロジェクト」を推進し、小学部、中学部の職員が連携してお互いの資質能力を高め、より質の高い授業を提供できるように努力します。その基本が「子供ファースト」です。(子供のためにどういうことをやったら一番いいのかを考えること。決して子供がしたいことをさせるという意味ではありません。)

さて、バンコクにおいても新型コロナウイルス感染者数が増加してきています。感染者はだれも感染したくて感染したわけではありません。今後、本校においても感染者が出てくるおそれもあります。感染予防対策を十分とっていただきますようよろしくお願いいたします。また、万が一感染者が出た場合、保健省との連絡を密にとるとともにその指示に従って対応を考えていきますので、ご理解賜りますようお願いいたします。併せて、感染者に対する誹謗、中傷などないよう各家庭でも指導してください。